

報道関係者各位
ニュースリリース

2015年1月8日
株式会社神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、「第1回 ウェアラブル EXPO」に日常生活のピンチからユーザを守るアプリ「WearAssist(ウェアシスト)」を出展

株式会社神戸デジタル・ラボ(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長:永吉 一郎、以下 KDL)は、2015年1月14日(水)から16日(金)まで東京ビッグサイトで開催される「第1回 ウェアラブル EXPO (<http://www.wearable-expo.jp/>)」に、ウェアラブルデバイスアプリケーション「WearAssist(ウェアシスト)」を出展します。また、14日にはKDLのウェアラブル技術開発チームリーダーであるアントワーヌ・ボーロンが「日常生活で着こなすためのウェアラブル技術」と題した講演も行います。ご来場を心よりお待ちしております。

■出展アプリケーション「WearAssist」とは

「WearAssist」は、「日常生活のピンチからあなたを守る」をコンセプトとしたウェアラブルデバイス向けアプリケーションです。KDL が培ってきたIT技術をもっと身近に利用していただくことをテーマに、次世代スマートデバイスとして関心の高まるウェアラブルデバイスに着目し、「WearAssist」の開発に踏み出しました。KDL は「WearAssist」を通じて、日常生活で起こる不便・危険・ハンディキャップを感じるシチュエーション(健康状態、コミュニケーション、障がいなど)を解消し、便利で安心な未来づくりを支援します。

■「WearAssist」の機能

ブースでは、「WearAssist」の4つの機能を体験していただけます。

1. メニュー認識

メガネ型デバイスを使ってメニューの文字情報から、そのメニューの翻訳に加え、目安の塩分・カロリー・アレルゲン情報が取得できます。

2. デバイス連携安否確認

時計型デバイスを身に着けた人の位置情報を一定以上離れると、メガネ型デバイスに通知します。
こどもや認知症の方の徘徊を検知する用途などを想定しています。

3. 方向・方角認識案内

メガネ型デバイスを通して周りを見ると、その方角にある宿泊施設、観光スポット、公共交通機関などの案内を表示します。
バリアフリー対応の情報も取得できます。

4. 施設内表示 VR(バーチャルリアリティ) ※RAPTECH PTE.LTD.開発

施設内をバーチャル映像で再現し、施設内の環境を事前に確認することができます。弊社シンガポール子会社の「KDL (SG) PTE. LTD.」に共同出資するシンガポールの会社「RAPTECH PTE.LTD.」が技術提供しています。

(画面キャプチャ)



■第1回 ウェアラブル EXPO 概要

開催日時:2015年1月14日(水)～1月16日(金) 10:00～18:00 (最終日は17:00終了)

会 場:東京ビッグサイト(東京都 東京都江東区 有明 3-10-1) 東展示棟

小間番号:東 15-34

■講演

「日常生活で着こなすためのウェアラブル技術」(事前申し込み不要)

日 程:1月14日(水)10:30～11:00

場 所:展示会場内セミナー会場

【会社概要】

社名 : 株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉 一郎

所在地 :(神戸本社) 〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町 93 番 栄光ビル 2F・5F
(東京支社) 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-3-27 芝公園 PR-EX ビル 5F

設立 : 1995年10月

資本金 : 2億995万円

従業員数: 164名(2015年1月現在)

URL : <http://www.kdl.co.jp/>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 神戸デジタル・ラボ 先端技術開発事業部

担当 : 佐々木・河村

TEL : 078-327-2280

FAX : 078-327-2278

Mail : info@kdl.co.jp

※記載されている会社名、製品・サービス名は、登録商標および登録申請中の商標です。